



新毎日

6月1日(水)

2022年(令和4年)

発行所:東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社



水を未来へ

2022年6月1日、東京都千代田区麹町で「#地球塾2050」が開かれ、WOT A株式会社の前田瑠介社長から、今の水問題や、上下水道システムをコンパクトにしたWOT Aの技術についてお話を伺った。水問題を自分事として考えるきっかけとなった。今の私たちには何ができるのだろうか。

どんどんチャレンジ

前田社長は地球全体で40%が水不足だという状況に対し、新しい会社を立ち上げ、WOT Aの製品で水不足の問題の解決を目指すことにしたそうだ。このシステムで「2人分の水で100人分のシャワー」をリユースできることを実現しようとしている。前田社長は大きい会社は今あるものを維持し、小さい会社は新しいことにどんどんチャレンジしていくことが大切だと考えている。

(井上優月)

深刻化する水不足

地球は「水球」と呼ばれるほど水が豊富だが、地球温暖化や気候変動などにより世界各地で深刻な水不足が起きている。水の使い方は主に、①体に取り入れられる水②生活用水③食料を作るために必要な水―に分けられる。バーチャルウ

害時用として採用されている。
もう水に流さない
(平野暖佳)

水は使っても無くならないというメリットを最大限活用して「浄化して再利用できる」というWOT Aの技術を開発した前田社長。循環しながら水をより身近にしていけることが今後の目標だと話していた。その目標を達成するためには、あまりお金をかけず水を守り、レジリエンスの気持ち

が大事となる。20世紀の対処法が、21世紀、22世紀にも対応できるかと言われるら、それはきつと難しいだろう。具体的にWOT Aの技術を発展させる、ということよりも、どんどん時代に乘った方法を見つける

ことが必要だと前田社長は話した。そうして、まだできていなことを新しい人と、新しい方法で実現することが大事だという考え方が必要だ。
(尹俊)

「不完全」は財産

前田社長が水問題プロジェクトを始めた頃、周囲の人は皆「無謀だ」と言った。しかし決して諦めなかった。反対派の意見にもきちんと耳を傾け、日々製品の実現化に尽力した。前田社長は語る。「大事なことは、自分とは違う意見はねのけないこと。全ての意見を取り入れ、目標への強い意志を持ち続けられ、成功への道が開ける」

(福居咲来)

私たちにできること

世界では地球温暖化や水不足、食料危機など様々な問題が起こっている。私達もそれらの問題に対し、真剣に向き合っていく必要があるのではないだろうか。今、日本は水不足問題が深刻とまではいかないが、だからといって他人事と考えるてはいけない。WOT Aのようなシステムを開発することだけが、水不足の解決につながるわけではない。水を出しっぱなしにしない、など小さなことでも私達ができることは多い。ぜひ、自分でできる小さな取り組みを考え、自分たちが住んでいるこの地球を守るための意識を多くの人に持つてほしい。

(佐古琴音)

